

ごみは、できるだけ指定時間（八時三十分）の間際に出すようご協力ください。

収集できないごみには ステッカー

収集日の違う種類のごみや分別がしつかりできていないごみ、市指定の袋以外で出されたごみ、事業系のごみ、市で収集していないごみなどは、収集せずに一時預かり所にそのまま置いていきます。中には、どうして収集されなかったのか分からない場合もあったと思います。今までは、一部のごみに収集できない理由を書いたステッカーを張っていました。しかし、これからは、全ての収集できないごみに張ります。ステッカーを張られたら、ごみを持ち帰り、改めて正しく分別するなどルールを守って、出すようにしてください。

清掃作業員の ことも考えて

ごみを出すときは、正しく分別するだけでなく、それを収集する清掃作業員への安全にも配慮しなければなりません。例えば、竹串のような先のとがったものやカッターナイフのような鋭利な刃物などは袋から突き出ることもあり、

危険です。新聞紙などに包んでから出してください。また、スプレー缶やガスボンベをごみとして出すときは、ガス抜きをお願いします。ガスが残っていると、爆発の恐れがあり、大変危険です。

生ごみの処理には コンポスト

生ごみは多量の水分を含み、そのまま出すと、焼却施設に水がたまり、ごみを燃えにくくするとともに、焼却費用が余分にかかることとなります。これは、焼却施設の老朽化にもつながります。生ごみは十分に水切りをしてから出すようにお願いします。

また、生ごみの量を減らすことは、家庭でもできます。その方法



の一つとして、市では、生ごみ処理器（コンポスト）の利用を勧められています。これは、土の中に住む微生物によって生ごみを分解し、そのまま土にかえし、たい肥として再利用するというものです。このコンポストを毎年貸与しており、今年も五月に募集する予定です。どうぞご利用ください。

ごみ問題の解決への近道は、ごみの量を減らすことです。ごみを減らすことは、省エネルギー、地球の温暖化防止などの環境問題に大きく関係します。また、私たちの税金でまかなっているごみの処理費用を節約できます。まずは、各家庭で、ごみを出さないような生活、工夫を心がけましょう。

1年間ではこんなになります

（平成8年度 大館市分）

出されるごみの量は・・・	24,737,460kg
ごみ運搬車に換算すると・・・	18,600台
一人当たりでは・・・	362kg
ごみ処理にかかったお金・・・	571,942,500円
一世帯当たりでは・・・	24,573円
10kg(ごみ袋約2個)を処理するには・・・	231円